



最悪の“封鎖”下の ガザ現状報告

ガザ地区では今なおイスラエルによる“封鎖”が続く一方、昨年夏、エジプトにハマス政権を敵視する軍事政権が誕生すると、ガザ住民の“生命線”だった国境沿いの地下トンネルが徹底的に破壊されました。その結果、ガザ地区はイスラエルによる“封鎖”に加え、エジプト側からの物資の流入の道さえ絶たれる、最悪の状況に追い込まれています。

このガザ地区の現状を、ガザ在住の人権活動家ラジ・スラーニ氏が直接、日本の市民に伝え、「和平交渉」の行き詰まりで混沌とするパレスチナ・イスラエル情勢を解説します。

パレスチナ・ フクシマ・ヒロシマ

ラジ・スラーニ氏招聘のもう1つの目的は、福島への訪問です。原発事故という“人災”で“故郷”“土地”を追われた福島の人びとを、同じく“人災”で“故郷”を失ったパレスチナ人が訪ね、“パレスチナ”と“フクシマ”との接点と普遍性を探ります。

さらに広島を訪ね、人類最悪の悲劇として並列される“ヒロシマ”と“アウシュビッツ”の関係を、新たに“パレスチナ”の視点を加えて再考します。

これまで全く接点のなかった「パレスチナ・フクシマ・ヒロシマ」を貫く普遍性をパレスチナ人の視点から模索すること。これもスラーニ氏の日本招聘の大きな目的です。

主な予定 (2014年7月)

※ 予定の詳細は、土井敏邦ホームページ (www.doi-toshikuni.net) でお知らせします。

7/4

パレスチナ問題
シンポジウム

(東京大学・東洋文化研究所)

5・6

ガザ報告と映画上映

ドキュメンタリー映画
「ガザに生きる」(5部作)
(明治大学リパティタワー)

7・8

福島
避難区域の視察
住民との対話

12

ガザ報告・集会
(京都大学)

13

広島訪問
原爆資料館見学
市民との対話

支援のお願い

このラジ・スラーニ氏の日本招聘に賛同して下さる方々の支援をお願いします。個人は一口 5000 円、団体は一口 10,000 円ですが、何口でも結構です。振込み先はこちらまで。

【郵便振込】 00280-0-95978

「土井敏邦 パレスチナ・記録の会」

※ 必ず「ラジ・スラーニ来日・支援」とご記入ください。

【主催】「ラジ・スラーニ氏 来日実行委員会」

【連絡先】 doitoshikuni@mail.goo.ne.jp

